

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻 5時 20分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 ( 1 / 1 )

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24985報)

2023年 9月 10日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	(対応日時, 対応の概要) 本日04時50分、1号機において、漏えい検知器が作動したことを示す警報が発生しました。 状況は以下のとおりです。 ・発生時刻 04時50分 ・発生場所 1号機廃棄物処理建屋 ・警報名称 1Rw/B 排水・戻りライン鋼管ユニット液位 高  本警報発生に伴い、滞留水移送設備を停止いたします。 現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。  【公表区分：C】 上記の連絡内容について、準備が整い次第、報道機関関係者にお知らせします。  ※添付の有り・ <del>(無)</del> (注4)
その他の事項の対応(注5)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度gal数(水平方向, 鉛直方向)を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお, 様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻

7時00分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24986報)

2023年9月10日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第2.5条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2) (注3)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第24985報にてお知らせした、1号機の漏えい検知器が作動したことを示す警報発生について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>5時20分に滞留水移送設備について、停止を実施しております。</p> <p>当社社員により現場確認を実施した結果、当該漏えい検知器の設置しているスキッド内およびスキッド外の堰内にて、約2cm程度の水が溜まっていることを確認しました。 また、スキッド上部の配管からの水の滴下はないこと、水は堰内に留まっており外部への影響はないことを確認しました。</p> <p>スキッド内の溜まり水についてサーベイを実施した結果は、以下の通りです。 ・スミア測定: 250cpm (バックグラウンドと同等) ・塩分濃度: 0% ・pH: 7 このことから6時10分、溜まり水は系統水ではないと判断しました。</p> <p>【公表区分: その他】 溜まり水が系統水ではないと判断されたことから、公表区分を「C」から「その他」に変更しました。 上記の連絡内容について、準備が整い次第、報道機関関係者にお知らせします。</p>
	※添付の有り・無し (注4)
その他の事項の対応(注5)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(2/2)

- (注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合、また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は、その発生日時、観測用地震計の加速度 gal 数（水平方向、鉛直方向）を記入する。
- (注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は、本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお、様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。
- (注5) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻

8 時 30 分

様式 9-1

第 25 条 報告

送信枚数 ( 1 / 1 )

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 4 9 8 7 報)

2023 年 9 月 10 日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011 年 (平成 23 年) 3 月 11 日 16 時 36 分 (24 時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 2 1 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2) (注 3)	(対応日時, 対応の概要) 第 2 4 9 8 5 報他にてお知らせした, 1 号機の漏えい検知器が作動したことを示す警報発生について, その後の状況をお知らせします。  当該警報発生に伴い全停止した滞留水移送設備については, 当該漏えい検知器の設置してある系統ラインを隔離した上で, 7 時 38 分に運転再開しました。 また, 当該漏えい検知器が設置されているスキッド内およびスキッド外に溜まった水の回収作業を準備ができ次第実施します。 なお, 当該建屋の滞留水水位は近傍のサブドレン水位よりも低く維持されており, 外部への流出はありません。  【公表区分: その他続】 上記の連絡内容について, 準備が整い次第, 報道機関関係者にお知らせします。  ※添付の有リ・ <del>無し</del> (注 4)
その他の事項の対応 (注 5)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格 A 4 とする。

(注 1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 当該原子力事業所所在市町村において震度 6 弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度 gal 数 (水平方向, 鉛直方向) を記入する。

(注 4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式 9-1 添付を用いて報告する。なお, 様式 9-1 添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注 5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻

13 時 30 分

様式 9-1

第 25 条 報告

送信枚数 ( 1 / 1 )

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 4 9 8 8 報)

2023年 9月 10日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011年 (平成 23年) 3月 11日 16時 36分 (24時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 2 1 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2) (注 3)	(対応日時, 対応の概要) 第 2 4 9 8 5 報他にてお知らせした, 1 号機の漏えい検知器が作動したことを示す警報発生について, その後の状況をお知らせします。  当該漏えい検知器が設置されているスキッド内およびスキッド外に溜まった水の回収作業を 13時 06分に完了しました。  【公表区分: その他統】
	※添付の有り・無し (注 4)
その他の事項の対応 (注 5)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格 A 4 とする。

(注 1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 当該原子力事業所所在市町村において震度 6 弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度 gal 数 (水平方向, 鉛直方向) を記入する。

(注 4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式 9-1 添付を用いて報告する。なお, 様式 9-1 添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注 5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻 14 時 45 分

様式9-1

第25条報告

送信枚数 ( 1 / 10 )

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24989報)

2023年 9月10日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分 (24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)(注3)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [9月10日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 9月9日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 9月9日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 8月30日、9月9日]</li> <li>・1号機、2号機放水路 分析結果 [採取日 9月8日]</li> <li>・地下貯水槽(ドレン孔・検知孔・海側観測孔) 分析結果 [採取日 9月9日]</li> </ul> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>・放出を継続しているALPS処理水測定・確認用タンクB群の放出実績は以下の通りです。 放出実績 9月9日0時00分～24時00分の実績 約456m<sup>3</sup></p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクAの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、9月11日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 9月6日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有<sup>り</sup>・無し (注4)</p>

( 2/10 )

その他の事項の対応 (注5)	なし
-------------------	----

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した特定事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 当該原子力事業所所在市町村において震度6弱以上の地震が発生した場合、また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は、その発生日時、観測用地震計の加速度gal数(水平方向、鉛直方向)を記入する。

(注4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は、本様式に加えて様式9-1添付を用いて報告する。なお、様式9-1添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注5) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所・プラント関連パラメータ

2023年9月10日 11:00現在

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.3 m <sup>3</sup> /h	給水系: 1.6 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h	給水系: 1.6 m <sup>3</sup> /h CS系: 2.1 m <sup>3</sup> /h	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 30.1 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 28.5 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 29.6 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69HS): 38.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 42.4 °C	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 33.8 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 32.9 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 29.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 29.6 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 38.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HM-2-16B (TE-16-114G#1): 38.1 °C	PCV温度 (TE-16-002): 31.8 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 33.1 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.14 kPa.g	3.77 kPa.g	0.47 kPa.g	
壁系封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B): 15.06 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 15.20 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 6.48 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.59 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 8.11 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 8.14 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	202 m <sup>3</sup> /h	15.59 Nm <sup>3</sup> /h	19.58 Nm <sup>3</sup> /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol.% B系: 0.00 vol.%	A系: 0.01 vol.% B系: 0.01 vol.%	A系: 0.06 vol.% B系: 0.07 vol.%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.53E-03 Bq/cm <sup>3</sup> 検出限界値 4.66E-04 B系: 指示値 1.18E-03 Bq/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.65E-04	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Bq/cm <sup>3</sup>	
使用済燃料プール 水温度	34.0 °C	33.1 °C	※5	※5
FPC 貯蔵タンク 水位	5.00 m	4.40 m	4.28 m	66.8 X100mm

【注】に関する事項

※1: 格納容器内の水素濃度は0.05vol.%以下を維持する。水素濃度が0.05vol.%以上になると、計測器によりマイナス表示される場合は格納容器内の水素濃度を調整する。  
※2: 放射能濃度は格納容器内の放射能濃度を指す。格納容器内の放射能濃度はXe135の放射能濃度を指す。  
※3: 壁系封入流量は、圧力容器の壁系封入流量を指す。  
※4: 壁系封入流量は、圧力容器の壁系封入流量を指す。  
※5: 500mmの水位は、500mmの水位を指す。

【留意事項】  
各項目については、検査やその他の事後処理の要を要請して、通常の使用状態を維持しているものもあり、正しく測定されていない同種類の計測器が存在している。プラントの安全性を確保するために、このようは詳細の不確かさを認識したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/09/09 08:00	< 4.5E+00	< 4.2E+00	2.6E+01
プロセス主建屋北東	2023/09/09 08:09	< 5.2E+00	< 4.2E+00	< 4.6E+00
プロセス主建屋南東	2023/09/09 08:14	< 4.5E+00	< 4.9E+00	< 4.2E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/09/09 08:30	< 4.8E+00	< 4.9E+00	2.0E+01
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/09/09 08:24	< 6.7E+00	< 4.9E+00	1.1E+02
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/09/09 08:05	< 4.7E+00	< 4.9E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/09/09 08:19	< 4.0E+00	< 5.4E+00	< 4.9E+00

不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読み。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

3/10

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

### 構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/09/09 07:45	3.8E+00	< 5.8E-01	5.7E+00
物揚場排水路	2023/09/09 07:55	1.8E+01	< 6.0E-01	1.5E+01
K排水路	2023/09/09 06:00	1.6E+02 ※2	2.5E+00	1.4E+02 ※2
BC排水路	2023/09/09 06:00	3.4E+01	< 7.9E-01	9.2E-01
D排水路	2023/09/09 07:50	9.8E+00	< 5.8E-01	6.3E+00
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・0.0E±0 とは、 $0.0 \times 10^{±0}$  であることを意味する。

(例) 3.1E+01 は  $3.1 \times 10^{+1}$  で 31, 3.1E+00 は  $3.1 \times 10^{+0}$  で 3.1, 3.1E-01 は  $3.1 \times 10^{-1}$  で 0.31 と読む。

・採取当日の降雨量は 40 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

※2 降雨の影響により上昇したと考えられる。

0/10

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/09/09 07:25	—	< 8.0E-01	< 6.1E-01
1F 5号機取水口前	2023/09/09 08:00	< 1.2E+01	< 3.2E-01	6.1E-01
1F 物揚場前	2023/09/09 07:40	< 1.2E+01	< 3.0E-01	2.6E+00
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/09/09 07:35	2.2E+01	3.6E-01	1.6E+01
1F 1~4号機取水口内南側 (返水壁前)	2023/09/09 06:50	7.4E+01	1.0E+00	5.0E+01
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/09/09 06:20	6.3E+00	< 9.1E-01	9.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/09/09 06:39	< 1.3E+01	< 2.9E-01	1.3E+00
1F 港湾中央	2023/09/09 06:30	< 1.3E+01	< 2.1E-01	3.0E+00
1F 港湾内東側	2023/09/09 06:33	< 1.1E+01	< 2.7E-01	2.1E+00
1F 港湾内西側	2023/09/09 06:28	1.2E+01	< 3.7E-01	5.0E+00
1F 港湾内北側	2023/09/09 06:25	< 1.1E+01	< 3.8E-01	4.8E+00
1F 港湾内南側	2023/09/09 06:36	< 1.1E+01	< 3.6E-01	1.5E+00
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン*1			1.0E+01	1.0E+01

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10<sup>±〇</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134, Cs-137の指標

・分析結果の詳細については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2023年9月10日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内, 放水口付近&gt; (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/8/30 8:45	1.1E+01	1.0E+00	< 6.4E-01	< 8.5E-01
1F 5号機取水口前	2023/8/30 7:40	< 1.1E+01	< 2.2E+00	< 3.6E-01	< 2.8E-01
1F 物揚場前	2023/8/30 7:15	< 1.1E+01	2.9E+00	< 3.4E-01	< 3.5E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (京波除堤北側)	2023/8/30 7:10	1.4E+01	3.7E+00	< 3.6E-01	1.6E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/8/30 7:15	1.3E+01	2.5E+01	< 6.6E-01	8.9E+00
1F 南放水口付近 (注) (T-2) ※	2023/8/30 8:11	1.3E+01	1.3E+00	< 7.7E-01	< 7.0E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/8/30 7:09	1.3E+01	1.1E+00	< 3.1E-01	< 3.1E-01
1F 港湾中央	2023/8/30 7:00	1.7E+01	3.1E+00	< 3.5E-01	< 3.2E-01
1F 港湾内東側	2023/8/30 7:03	< 1.0E+01	2.1E+00	< 3.0E-01	< 2.6E-01
1F 港湾内西側	2023/8/30 6:54	< 1.0E+01	2.4E+00	< 3.1E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内北側	2023/8/30 6:57	< 1.0E+01	2.0E+00	< 3.5E-01	< 2.9E-01
1F 港湾内南側	2023/8/30 7:06	2.0E+01	< 1.7E+00	< 3.6E-01	< 2.6E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2023/8/30 8:15	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 2.9E-01	< 2.2E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2023/8/30 7:56	1.5E+01	4.3E-01	< 3.0E-01	< 3.0E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2023/8/30 7:45	< 1.3E+01	1.4E+00	< 3.3E-01	< 2.5E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2023/8/30 7:39	< 1.3E+01	< 3.2E-01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2023/8/30 7:22	1.4E+01	< 3.1E-01	< 3.4E-01	< 2.7E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

・T-0-1, T-0-1A, T-0-3A, T-0-3のH-3以外は既にお知らせ済み。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3, Cs-134, Cs-137の指標

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

(注)地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている。

(2014年10月19日以降)

8/10

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

## 1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	1.0E+04	< 9.5E+01	1.6E+02	8.0E+03
	下流側	3.5E+03	4.3E+02	2.5E+01	1.1E+03
2号機放水路立坑水	上流側	1.4E+03	< 9.6E+01	2.4E+01	1.0E+03
	下流側	1.4E+02	< 9.5E+01	< 7.5E+00	4.3E+01

・不等号 (<:小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは,  $0.0 \times 10^{\pm 0}$  であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

9/10

2023年9月10日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

## 地下貯水槽（ドレン孔・検知孔・海側観測孔）分析結果（全β）

採取地点		採取日時	分析項目
			全β (Bq/L)
地下貯水槽 (ドレン孔水)	i	北東側	—
		南西側※	2023/09/09 07:50
	ii	北東側	—
		南西側	—
	iii	北東側	—
		南西側	—
	vi	北西側	—
		南東側	—
地下貯水槽 (漏えい検知孔水)	i	北東側	—
		南西側※	2023/09/09 07:56
	ii	北東側	—
		南西側	—
	iii	北東側	—
		南西側	—
海側観測孔	②	—	
	⑦	—	
	⑧	—	

・不等号（<：小なり）は、検出限界値未満（ND）を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・ $0.0E\pm 0$ とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。

（例） $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31、 $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1、 $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

※ 8月7日に有意な上昇があったため、調査分析を実施。

2023年9月10日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サブドレンタンク) A	2023/09/06 06:51	460	東京電力	< 2.1E+00	7.4E+02	< 7.9E-01	< 7.7E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.1E-01	8.0E+02	< 6.8E-01	< 6.4E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3				/	6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	/
WHO飲料水水质ガイドライン				/	1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	/

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

発信時刻

14 時 45 分

様式 9-1

第 25 条 報告

送信枚数 ( 1 / 1 )

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 4 9 9 0 報)

2023 年 9 月 10 日

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第 2 5 条 報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第 2 5 条第 2 項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 2 2
特定事象の発生箇所 (注 1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注 1)	2011 年 (平成 23 年) 3 月 11 日 16 時 36 分 (24 時間表示)
特定事象の種類 (注 1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第 6 条第 4 項第 4 号, 省令第 21 条第 1 項ロ)
発生事象と対応の概要 (注 2) (注 3)	(対応日時, 対応の概要) 第 2 4 9 8 4 報でお知らせしたとおり, サブドレン他水処理施設一時貯水タンク L に貯水していた水について, 本日以下のとおり排水を実施しました。  ・排水開始 : 11 時 06 分 ・排水終了 : 13 時 37 分 ・排水量 : 372 m <sup>3</sup>  排水状況については, 漏えい等の異常がないことを確認しております。  【公表区分: E】 ※添付の有り・無し (注 4)
その他の事項の対応 (注 5)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格 A4 とする。

(注 1) 最初に発生した特定事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注 2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注 3) 当該原子力事業所所在市町村において震度 6 弱以上の地震が発生した場合, また震度によらず警戒事態該当事象または特定事象の発生に関連していると思われる地震が発生した場合は, その発生日時, 観測用地震計の加速度 gal 数 (水平方向, 鉛直方向) を記入する。

(注 4) 新たに警戒事態該当事象または特定事象が発生した場合は, 本様式に加えて様式 9-1 添付を用いて報告する。なお, 様式 9-1 添付を用いた報告は当該事象が非該当となるまで継続して行う。

(注 5) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。